技術セミナー

関連部署にご回覧ください

現場の知恵と工夫で進める「組立・機械加工・搬送」の機械化・自働化

【事例で学ぶ】簡易自働化のツボとコツ

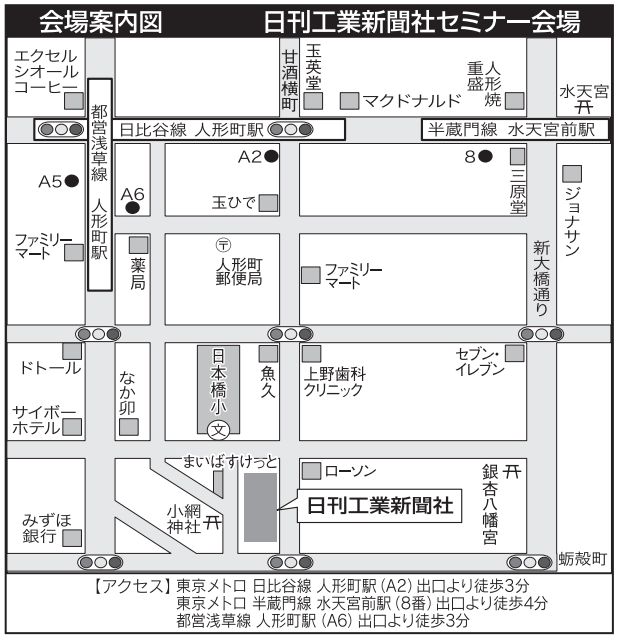
「ヒトのやるべき仕事」「機械で自動化すべき仕事」の区別の仕方、
最も効率的な組み合わせのノウハウを学ぶ

日時 2019年 10月 28日(月) 10:00～17:00
（9：30 受付開始、休憩 12：30～13：30）

主催 日刊工業新聞社

会場 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋小網町 14-1（住生日本橋小網町ビル）

受講料 40,000円（資料含む、消費税別）
＊同時複数人数お申し込みの場合2人目から36,000円



【アクセス】東京メトロ 日比谷線 人形町駅（A2）出口より徒歩3分
東京メトロ 半蔵門線 水天宮前駅（8番）出口より徒歩4分
都営浅草線 人形町駅（A6）出口より徒歩3分

日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1（住生日本橋小網町ビル）
【アクセス】
東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分
東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからもお申し込みできます。（http://corp.nikkan.co.jp/seminars/）受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。
なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせて頂きます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。
振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義				
㈱日刊工業新聞社	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申 込 先 日刊工業新聞社 総合事業局 教育事業部 技術セミナー係
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1（住生日本橋小網町ビル）
TEL 03（5644）7222　FAX 03（5644）7215
e-mail：j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書

10/28 簡易自動化

お申し込みは FAX 03-5644-7215

■受講料：40,000円（資料含む、消費税別）＊同時複数人数お申し込みの場合2人目から36,000円　※振込手数料は貴社にてご負担ください。

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL
所在地	〒	FAX	
E-mail：		※今後、E-mailによるご案内を希望しない方はチェックをしてください。	□

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.190328

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター　情報事業部　nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

製造現場に課せられた命題は、最小のエネルギー（労力）で最大の効果（生産）をあげることです。むやみに何もかも機械化・自働化してしまい、結果上手くいかないケースが後を絶ちません。

自働化を進めるためには「人のやるべき仕事」「機械を利用すべき仕事」を最初に明確にし、最も効率的に作業ができるよう、上手く組み合せる必要があります。例えば、治工具や設備を少し工夫し手を加えれば、今よりもっと楽に、早く、簡単に作業ができるようになるのではないでしょうか。本セミナーでは、現場の作業者が知恵と工夫・経験をもとに、DIY感覚でできる自働化の進め方について、特に人と機械のミスマッチが起こりやすい組立・機械加工・搬送作業に重点をおいて事例を交えて解説いたします。また、お金をかけずにできる「からくり」の原理原則を紹介し、それらを活用しすぐに実践できる自働化のヒントやポイントもあわせてご紹介します。

講　師

株式会社SMC 代表取締役　**松田　龍太郎** 氏

【略歴】 1974年に現オムロンスイッチアンドデバイス㈱に入社。リミットスイッチなどの設計および開発に従事。特許や実用新案も考案しその数は150件に及ぶ。1984年に製造業務への異動後も、その手腕を発揮しTPSを中心とした普及活動を推進。2000年に退職し、㈲エス・ピイ・エス経営研究所へ入社。その後、ドイツへ赴任し、現場改善コンサルタントとして65社、210工場で実績を積む。2006年独立し、㈱SMCを設立。引き続き、コンサルティング、セミナー講師とし活動中。元気で明るくユーモアを交えたユニークな指導に定評がある。

【著作】 「絵とき　ポカミス撲滅大全」監修　日刊工業新聞社。「絵とき　簡便自働化」監修　日刊工業新聞社。「日本製造業超ものづくり経営」共著　日経ＢＰ社。「機械設計」連載　目からウロコだ！現場改善　日刊工業新聞社。現在「工場管理」日刊工業新聞社で「虫の眼・魚の眼・鳥の眼」連載中。「がんばれ上司」全89コラムのＣＤをＨＰで好評発売中。

プログラム

1 自働化を進めるにあたって
1）トヨタ生産方式の「JIT・自働化」との関係について
2）自働化は「高い品質」「高い効率」「高い柔軟性」を狙います

2 自働化する前に知るべき重要な４つのポイント
1）一つひとつの動作バラつきを明確にする
2）工程に潜む「ムダ」を徹底的に“廃除”する
3）できるだけコストをかけず知恵を盛り込む
4）からくりの要素を取り入れてみましょう

3 “組立作業”自働化コンセプトの考え方
1）「組立作業」の一つひとつの動作を9つに分解して考える。
2）9つに分解したそれぞれの動作のコンセプトを
絵ときと実例で紹介
ex. 部品の引き取りコンセプトは…
①定位置・定方向
②振り向きなしのフロント供給
③空箱もフロント排出

4 “機械加工”自働化コンセプトの考え方
1）「機械加工」の一つひとつの動作を10に分解して
考える。
2）10に分解したそれぞれの動作のコンセプトを
絵ときと実例で紹介
ex. ワーク取付けのコンセプトは…
①投げ入れ治具
②正しいワークをチェック

5 “搬送作業”自働化コンセプトの考え方
1）「搬送作業」の一つひとつの動作を6つに分解して
考える。
2）6つに分解したそれぞれの動作のコンセプトを
絵ときと実例で紹介
ex. 荷揃えのコンセプトは…
①荷姿のパターン化
②キット化、セット化
③繰り返し使える通箱

6 からくりを使って、自働化に挑戦してみよう
1）からくりをモノづくりに活かすコンセプト
2）からくりの10の原理原則を紹介
3）身近なものを使って実践しよう
4）すぐに実践できる改善台車などの紹介